

令和4年度（2022年度）行政評価シート【個表】

令和 4 年 7 月 19 日

評価対象事業		評価者	下水道河川課長	加藤 隆志
都整-23	雨水施設維持管理事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	下水道河川課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	下水道・河川	施策の方針	河川の整備・管理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	大雨や台風による洪水や溢水から市民等を守るため。
効果	雨水調整池について、良好な状態を保持する。

2 令和3年度(2021年度)に実施した事業の概要

雨水調整池を良好な状態を保持するため、雨水調整池浚渫業務委託等3件を実施した。 河川の溢水を監視するための、河川等監視カメラの設置を1箇所行った。
--

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和3年度		令和4年度		達成度
				指標(実績値/目標値) 事業費(決算/当初)(千円)	指標(目標値) 予算額(千円)	指標(目標値) 予算額(千円)		
01	雨水施設維持管理事業	維持修繕、浚渫等	浚渫等実施件数	3 / 3 2,608 / 3,278	10 27,286		100.0%	
02	河川監視カメラ設置事業	河川等監視カメラ設置	カメラ設置箇所数	1 / 1 2,110 / 2,383	3 6,321		100.0%	
03	洪水浸水想定区域図作成事業	洪水浸水想定区域図作成	実施件数	1 / 1 19,729 / 32,600	0 0		100.0%	
04				/				
05				/				
06				/				
07				/				
08				/				
09				/				
10				/				
		財源内訳	国県支出金	/				
			地方債	/				
			その他特定財源	/				
			一般財源	24,447 / 38,261	33,607			
			事業費の合計(千円)	24,447 / 38,261	33,607			
			人件費(千円)	8,887	8,986			

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	0.3	1.0	1.0			
会計年度任用職員	0.0	1.0	1.0			

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	雨水施設維持管理事業	浸水被害の軽減するため、浚渫、除草、枝払い等を定期的実施した。	浚渫や除草を実施することで、浸水対策の推進することに寄与する。	調整池は全25箇所(ポンプ排除式を除く)にあり、随時、土砂の堆積状況を把握し、定期的に浚渫を行っていく必要がある。
02	河川監視カメラ設置事業	河川の水位を監視することで、溢水の危険性を事前に把握することが可能になり、市民等の安全が守れることから、カメラを1台設置した。	河川の水位を監視することで、市民等の避難情報に活用することが可能となるので、市民の安全・安心を確保することに寄与する。	避難情報としての精度を高めるためには、カメラの増設等を検討していく必要がある。
03	洪水浸水想定区域図作成事業	ハザードマップの基礎情報となることから、洪水浸水想定区域図を作成した。	洪水浸水想定区域図を基に作成するハザードマップは、市民等の避難情報に活用することが可能となるので、市民の安全・安心を確保することに寄与する。	令和3年度実施業務では外水氾濫のみを対象としたため、ハザードマップの精度を高めるためには内水(下水道)の氾濫についても検討が必要である。
04				
05				
06				
07				
08				
09				
10				

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	2 外部化に向けて検討できる事業がある
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	1 民間によるサービスで代替できる事業がある
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-2 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 △-2 市民等と協働して実施する事業はない 協働実施済の場合のパートナー

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善・変更 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
調整池の浚渫等、維持管理のニーズは増えているので、計画的に対応していく必要がある。	

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	浚渫等実施件数						単位	件
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
浸水被害の軽減するため、浚渫、除草、枝払いを定期的実施する必要があることから、浚渫等の実施件数を指標とした。	目標値	3	3	10				
	実績値	2	3					
	達成率	66.7%	100.0%					

指標(単位)	カメラ設置箇所数						単位	箇所
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
河川の水位を監視することで、溢水の危険性を事前に把握することが可能になり、市民等の安全が守れることから、カメラの設置箇所数を指標とした。	目標値	1.0	1.0	3.0				
	実績値	1.0	1.0					
	達成率	100.0%	100.0%					

指標(単位)	実施件数						単位	件
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
洪水浸水想定区域図を作成は、ハザードマップの基礎情報となることから、実施件数を指標とした。	目標値	1.0	1.0	0.0				
	実績値	0.0	1.0					
	達成率	0.0%	100.0%					

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項							
団体名	鎌倉市						
他市実績							

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	
----------------------	--